

### 『鶴ヶ峰駅付近の相鉄線が“地下化！！”開かずの踏切解消へ』

新年明けましておめでとうございます。

皆様既に新聞等の報道でご存じの通り、新年早々の1月9日に横浜市より鶴ヶ峰～二俣川間の連続立体交差の方式が地下化として事業を進めていくとの発表がありました。

着工準備に5年、工事期間が11年程度ですので、16年後の2034年には踏切が解消されることとなります。

この地下化工事が始まる前に出来るだけ早く、現在皆様と検討を進めているまちづくりをさらに具体化していかねばなりません。

新しい鶴ヶ峰駅周辺をより安全・安心でより暮らしやすい街とすべく今後も皆様と議論を重ねて行く所存ですので、本年も昨年以上のご協力をお願い致します。

鶴ヶ峰駅北口地区再開発協議会 理事長 安藤 公一

※下記の誌面は、平成30年1月9日の横浜市（担当：道路局事業推進課鉄道交差調整担当）による記者発表資料を引用しています。

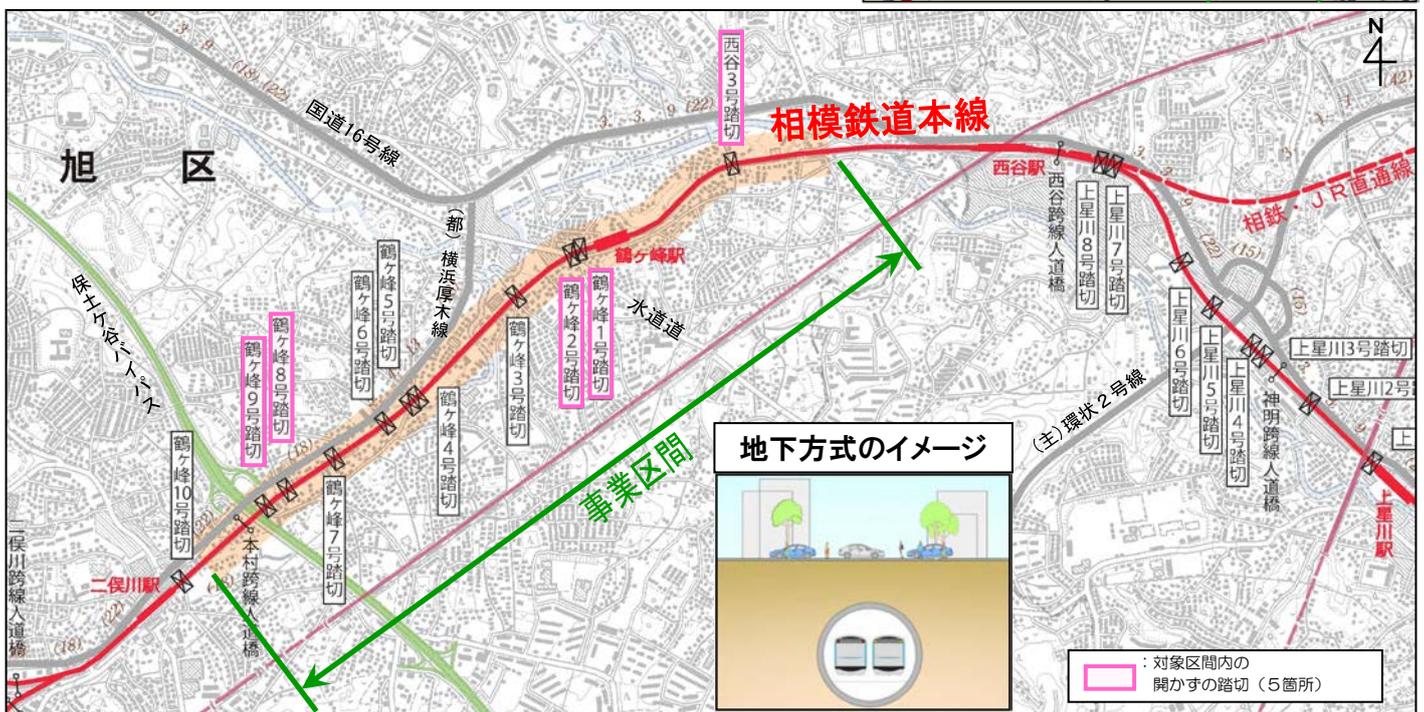
#### 1 事業概要

【区間】相模鉄道本線鶴ヶ峰駅付近（西谷駅～二俣川駅間）

【延長】約2.7km 【構造形式】地下方式 【事業主体】横浜市

【踏切除却数】10箇所（開かずの踏切：5箇所）

※開かずの踏切：ピーク時1時間あたり40分以上遮断している踏切



## 2 期待される主な整備効果

### ① 踏切における慢性的な渋滞が解消されます！

踏切周辺の道路は慢性的に渋滞が発生しており、市民生活に支障をきたしています。

### ② 災害時における緊急活動が迅速化します！

事業区間のある旭区は鉄道により南北が分断されており、消防車や救急車による緊急活動の際でも踏切を避けて通れない状況です。「開かずの踏切」による長時間の交通遮断や、周辺道路の渋滞により、迅速な対応が求められている緊急活動に支障をきたしています。

### ③ 駅周辺のまちづくりが進展します！

検討を進めている「鶴ヶ峰駅北口周辺地区まちづくり構想」において、鉄道の地下化に伴い計画の自由度が高まり、主要な生活拠点としての鶴ヶ峰駅周辺のポテンシャル向上が期待されます。

## 鶴ヶ峰駅北口周辺地区まちづくり構想「検討会・第4回」のご案内

まちづくり構想ニュース「第3号」でもご案内していますが、「検討会・第4回」を以下のとおり、開催します。

### 皆さまの参加をお待ちしております。

#### ■内容

- ・鶴ヶ峰駅北口周辺の「まちづくり構想（素案）」について
- ・今後の進め方について

#### ■日時

| 開催日           | 時間                |
|---------------|-------------------|
| 平成30年2月25日（日） | 10：00～12：00（終了予定） |
| 平成30年2月28日（水） | 19：00～21：00（終了予定） |

※説明内容は同じです。

ご都合の良い日にご参加ください。

#### ■会場

旭公会堂（第1会議室・第2会議室）

※前回と会場が変わります。ご注意ください。

#### 【発行元】

##### ■横浜市都市整備局

担当課：市街地整備推進課（担当：島田、木村）

電話：045-671-3799 FAX：045-664-7694 E-mail：tb-seibisuishin@city.yokohama.jp

##### ■鶴ヶ峰駅北口地区再開発協議会

理事長：安藤公一